

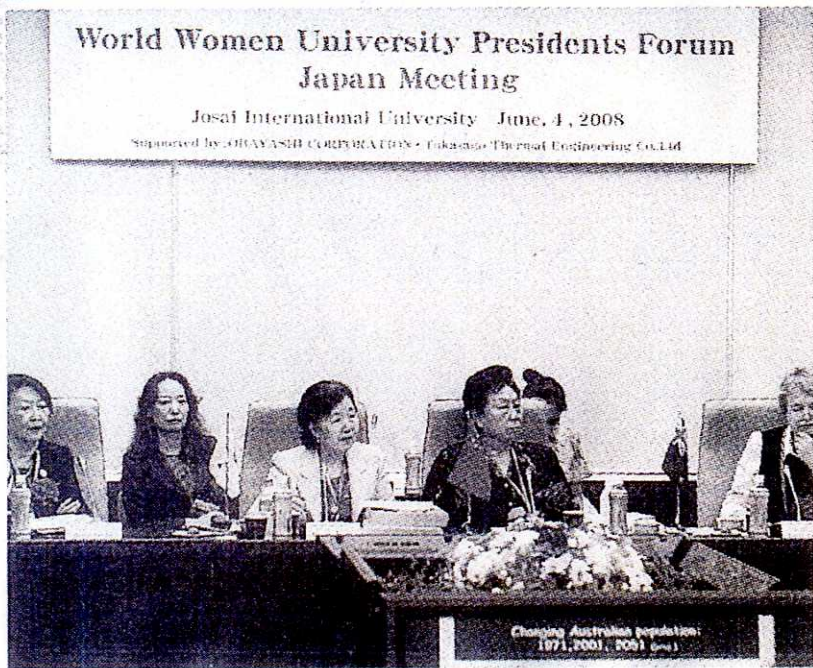
4カ国から20人が参加

都内で世界女性学長フォーラム

世界女性学長フォーラムの日本会議(代表・水田宗子城西国際大学学長)が、このほど東京都内で行われ、高齢化社会における女性の高等教育の重要性が提案された。二〇〇九年十月に中国・南京市で開催される第四回フォーラムで、主要テーマの一つに取り上げられることになった。

日本会議は日、米、中、ニュージーランドから城西国際大、お茶の水大、ハワイ大ヒロ校、マッセイ大(ニュージーランド)、中国伝媒大、北京大、大連理工大など九大学から約二十人の女性学長、副学長らが出席。日本からは非正規雇用者と

正規雇用者との待遇格差による生活基盤の崩壊などを指摘、ワーク・ライフバラ



水田城国大学長らが出席した世界女性学長フォーラム日本会議

ンスによる労働環境改善がアピールされた。世界女性学長フォーラムは劉継南・中国伝媒大学名誉学長が呼び掛け、〇一年に北京で八カ国が参加して一回目を開催した。次回のフォーラムでは、

高齢化社会の高等教育のほかに女性のリーダーシップ育成、私立大学の発展戦略、環境問題と高等教育といったテーマが議論される予定。